

～平成28年度政策・実務研修～
「固定資産台帳の整備」
事例紹介「習志野市」

日時：平成28年6月7日（火）9時～10時30分

場所：全国市町村国際文化研修所



バランスシート博士 女子高校生「きら子」さん

習志野市の公会計改革を推進
するために職員が作成したキャ
ラクターです。

千葉県習志野市会計課
関根 順子


～目次～



◎ 体制整備について

1. 地方公会計改革研究プロジェクト(資料1).....3
2. 公会計改革タスクフォース(資料2・3・4).....4
3. 経営改革推進室.....5
4. 会計課.....6

◎ 固定資産台帳の活用事例

1. セグメント分析

 - ①下水道事業.....7
 - ②校舎.....8
 - ③施設別サービスコスト.....9
 - ④行政サービスの値札事業.....10
 - ⑤固定資産台帳と橋梁台帳.....11～12
 - ⑥行政評価との連携.....13
2. 資産の適切な管理
 - ①公共施設等総合管理計画.....14～16
 - ②公共施設再生計画.....17
3. 情報開示
 - ①公会計白書の作成.....18

1. 地方公会計改革研究プロジェクト



期間：平成19年6月から平成21年3月

目的：習志野市が進むべき地方公会計の方向性の検討と「指針」の作成

メンバー：公募職員当初10名

活動実績：**基準モデルとする方向性を決定**

○13回の全体会議

○10回以上のグループ会議

○研修会への参加、倉敷市への視察

資料1参照

2. 公会計改革タスクフォース

【業務】

各部局が管理する全ての固定資産等を洗い出し、新公会計制度の基準に基づく価額算定を行うとともに、現在価額(開始時簿価を)を記載した資産台帳を整備。

【設置期間】

平成20年7月1日～平成20年9月30日



【組織】

財政部経営改革推進室に3名配置(兼務辞令)。執務は財政課で行う。
(指揮→経営改革推進室長、時間外勤務手当→財政課)

【協力体制】要領にて明文化

各部局は、タスクフォースからの協力要請に対して全面的に協力する。

資料2・3・4参照

3. 経営改革推進室



期間：平成20年4月から平成24年3月

目的：習志野市が抱える全庁横断的な課題について調査・検討・実施

メンバー：室長を含め3名（平成22年度からは4名）

主な業務：自治体経営の調査研究・行政改革の推進・集中改革プラン及び経営改革プランの遂行・事業仕分けの実施・行政と民間の役割分担のあり方の調査研究・定員適正化・**地方公会計改革の研究・検討**・庁舎建設手法・公共施設老朽化対策など

4. 会計課

体制整備の強化

平成25年度に公会計の業務を
財政課から会計課に移管

出納・公会計系の創設

(平成27年度に会計推進係に機構改革)



1) 財務会計システムの変更を検討

→ 日々仕訳の検討

2) 人材育成の見地から

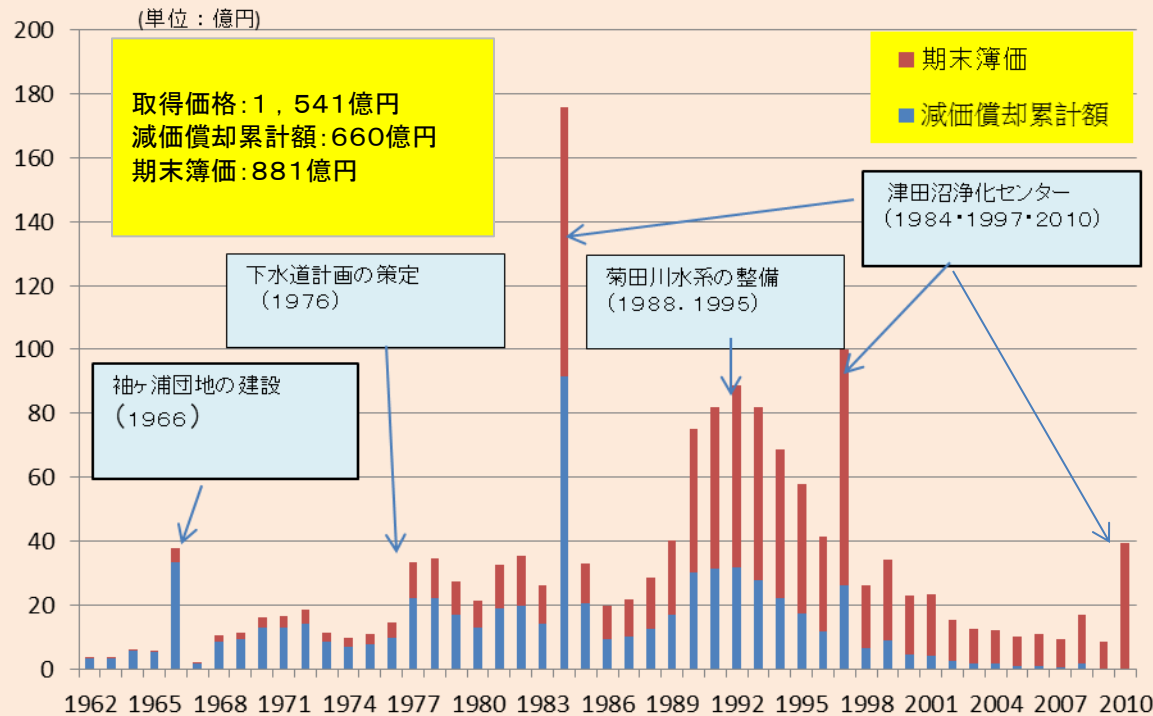
1-① 下水道事業

背景・目的

- 下水道事業における「下水道施設」「下水道管きょ」について、今後の更新費用をわかりやすく説明する。
- インフラ資産である下水道の老朽化対策を検討。

事例概要

固定資産台帳から下水道事業の「下水道施設」「下水道管きょ」を年度別に整理し、下水道事業の主な出来事を併記した資料を作成した。(平成22年度固定資産台帳より作成)



効果等

下水道事業の累積事業費(移管による無償取得を含む)が1,500億円を超えていることや、減価償却累計額が約700億円であることなど具体的な数字をわかりやすく示すことができた。

1-② 校舎

背景・目的

- 公共施設の老朽化対策を検討する。
- 高度成長時代に設立された小学校校舎の現状をわかりやすく説明する。

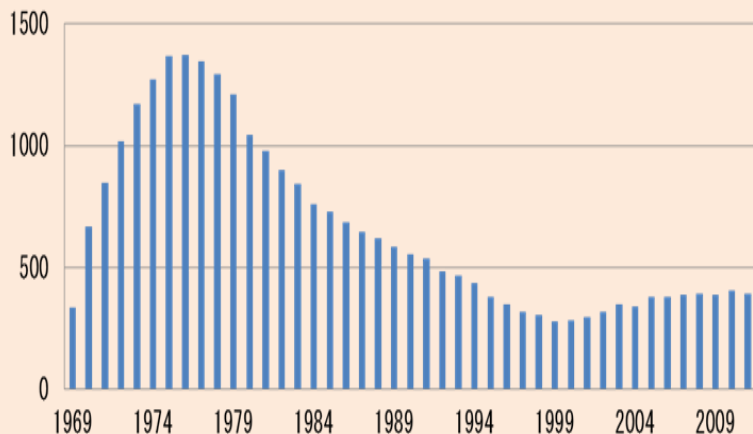


(埋立前の袖ヶ浦)

事例概要

固定資産台帳の小学校校舎のデータと児童数を対比させた資料を作成した。

袖ヶ浦東小学校の児童数推移



名称	取得年	耐用年数	取得価額 (再調達価額)	減価償却 累計額	期末簿価	延床面積
校舎①	1969年	47	494,400,000	429,732,480	64,667,520	3,646m ²
校舎②	1971年	47	180,030,000	152,665,440	27,364,560	1,033m ²
校舎③	1974年	47	97,271,600	74,237,652	23,033,948	857m ²
体育館	1975年	47	195,067,000	144,739,700	50,327,300	814m ²

老朽化比率

校舎①	86.9%
校舎②	84.8%
校舎③	76.3%
体育館	74.2%

※平成22年度固定資産台帳から抜粋

効果等

- 固定資産台帳のデータから、児童数の増加に併せて校舎を次々に建設したこと、体育館が完成した1975年が児童数のピークであり、それ以降児童数が減少していること、老朽化比率も非常に高い状況であることなど、具体的な数値に基づく分析結果を示すことができた。

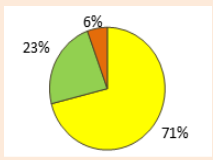
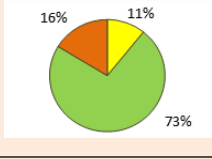
1-③ 施設別サービスコスト

背景・目的

○市民に施設別のサービスコストを提供するとともに、公共施設のマネジメントにも活用。

事例概要

施設別サービスコスト一覧を作成し、公表。

施設名称	人件費 (千円)	減価償却費 (千円)	事業費 (千円)	構成比	総コスト (千円)	市民1人 当たり のコスト (円)	1日あたり のコスト (365日) (円)
芝園清掃工場 (前処理施設含む)	88,942	371,796	1,130,011		1,590,748	9,713	4,358,214
リサイクルプラザ	13,411	60,074	8,897		82,382	503	225,705

効果等

- 施設別のコスト分析が可能となる。
公共施設等総合管理計画、公共施設再生計画に活用。

1-④ 行政サービスの値札事業

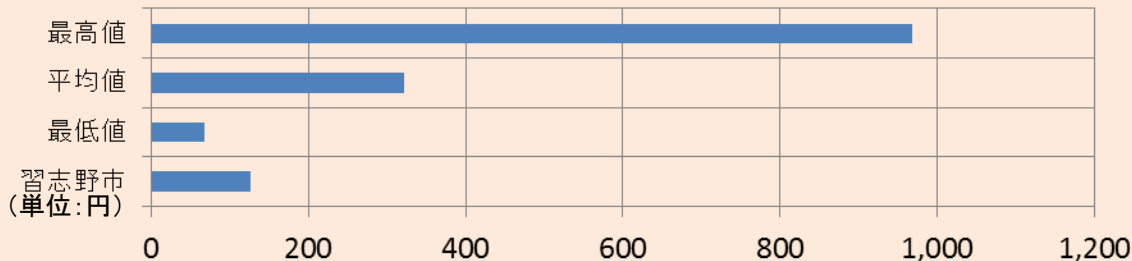
背景・目的

○全国青年市長会が呼びかけ、全国61市が参加したもので、今後の行財政運営に生かすことを目的として実施。

事例概要

11事業を対象として人件費や減価償却費などを含む総コスト情報に基づき、1単位当たりのコストを算出。

対象年度	H23	事業名称	図書貸出業務
1単位あたりのコストを算定する事業量		内容 単位	図書貸出点数 点(DVD等も含む)



1単位あたりのコスト
習志野市の順位
6位
(全体54市)

総コスト(円)	数量	1単位あたりのコスト(円)	利用者負担額(円)	利用者負担割合	市負担額(円)	市負担割合
140,732,864	1,116,537	126	0	0%	126	100%

効果等

○他市比較ができる効果がある。今後は統一基準によるより精度の高い比較が可能となる。

1-⑤-1 固定資産台帳と橋梁台帳

背景・目的

○橋梁の老朽化の現状とその対策としての橋梁長寿命化修繕計画について、固定資産台帳と橋梁台帳に着目し検証した。

事例概要

バランスシート探検隊事業として位置づけ、千葉大学の協力を得て実施。この成果については、ケーブルテレビで放映するとともに、財務報告書に、マンガの手法も取り入れて、掲載した。

③鷺沼中央跨線橋

橋梁番号 1 所在 鷺沼台3丁目 路線名 市道00-011号線

橋梁台帳より		平成24年度 固定資産台帳より								単位：円
建設主体	他	取得年度	稼働年数	耐用年数	当期取得額	減価償却累計額	期末簿価	老朽化比率		
延長(m)	214.00									
幅員(m)	9.00	橋梁00022-G1	昭和48年度	39	60	980,280,900	621,672,831	338,587,969	64.7%	
面積(m ²)	1,712.00	橋梁00022-G2	平成20年度	4	60	64,501,500	4,282,896	60,218,604	6.6%	
建設後年数	39.0	橋梁00022-G3	平成21年度	3	60	49,530,600	2,466,621	47,063,979	5.0%	
建設年次	昭和48年	橋梁00022-G4	平成21年度	3	60	1,162,200	57,876	1,104,324	5.0%	
主桁構造	鋼構造+C	橋梁11085001	平成23年度	1	60	58,800,000	976,080	57,823,920	1.7%	
耐用年数	75	建設費動定+1085001	平成24年度	0	0	(2,100,000)	0	(2,100,000)	0.0%	
引当金-修繕費等	36	建設費動定+1085002	平成24年度	0	0	(493,500)	0	(493,500)	0.0%	
路線・跨道	在来線	建設費動定+1085003	平成24年度	0	0	(280,350)	0	(280,350)	0.0%	
備考		建設費動定+1085004	平成24年度	0	0	(151,330,930)	0	(151,330,930)	0.0%	
		合計				1,134,255,100	629,456,304	504,798,796	55.5%	

平成24年度 バランスシート

資産 (659,003,576円)	負債 (137,240,017円)
	純資産 (521,763,559円)

平成9年度以降工事・補修費決算額

年度	決算額(円)
平成9年度	60,270,000
平成12年度	22,470,000
平成18年度	9,450,000
平成20年度	64,996,050
平成21年度	51,186,300
平成22年度	600,000
平成23年度	61,896,343
平成24年度	158,236,780
合計	429,105,473



平成26年1月17日の現地視察



習志野市の財務報告書
～平成26年3月発行～より

効果等

○橋梁台帳と固定資産台帳では、耐用年数の考え方が違う部分もあるが、橋梁の維持管理には、固定資産台帳の情報を利用することが必要不可欠である。

1-⑤-2 固定資産台帳と橋梁台帳

③ 鷺沼中央跨線橋

橋梁番号	1	所在	鷺沼台3丁目	路線名	市道00-011号線
------	---	----	--------	-----	------------

橋梁台帳より		平成24年度 固定資産台帳より							単位：円	
建設主体	他	公有財産No.	取得年度	稼働年数	耐用年数	当期取得額	減価償却累計額	期末簿価	老朽化比率	
延長(m)	214.00									
幅員(m)	8.00	橋梁00022-01	昭和48年度	39	60	960,260,800	621,672,831	338,587,969	64.7%	
面積(m ²)	1,712.00	橋梁00022-02	平成20年度	4	60	64,501,500	4,282,896	60,218,604	6.6%	
建設後年数	39.0	橋梁00022-03	平成21年度	3	60	49,530,600	2,466,621	47,063,979	5.0%	
建設年次	昭和48年	橋梁00022-04	平成21年度	3	60	1,162,200	57,876	1,104,324	5.0%	
主桁構造	鋼構造+C	橋梁11085001	平成23年度	1	60	58,800,000	976,080	57,823,920	1.7%	
耐用年数	75	建設仮勘定12085001	平成24年度	0	0	(2,100,000)	0	(2,100,000)	0.0%	
対応年数-建設後年数	36	建設仮勘定12085002	平成24年度	0	0	(493,500)	0	(493,500)	0.0%	
跨線・跨道	在来線	建設仮勘定12085003	平成24年度	0	0	(280,350)	0	(280,350)	0.0%	
備考		建設仮勘定12085004	平成24年度	0	0	(151,330,930)	0	(151,330,930)	0.0%	
合計						1,134,255,100	629,456,304	504,798,796	55.5%	

平成24年度 バランスシート

資産 (659,003,576円)	負債 (137,240,017円)
	純資産 (521,763,559円)

平成9年度以降工事・補修費決算額

年度	決算額(円)
平成9年度	60,270,000
平成12年度	22,470,000
平成18年度	9,450,000
平成20年度	64,996,050
平成21年度	51,186,300
平成22年度	600,000
平成23年度	61,896,343
平成24年度	158,236,780
合計	429,105,473

1-⑥ 行政評価との連携について

背景・目的

○今後、行政評価との連携を模索する目的で実施。

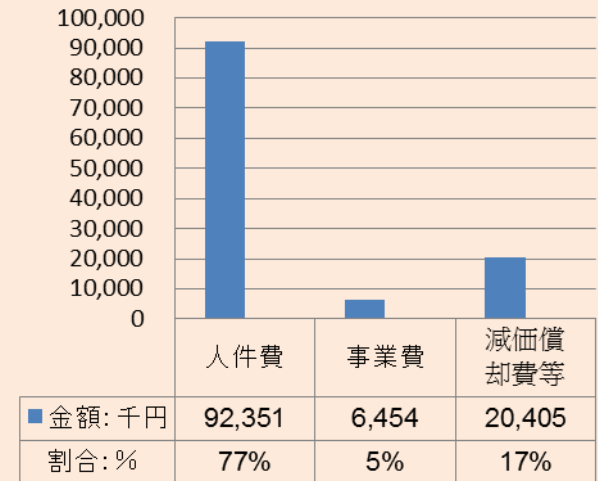
事例概要

事務事業評価表の「公民館講座費」のデータに発生主義のコスト情報を加えて検証。

フルコスト情報

発生主義による追加計上

退職給付費用の計上	889,562,938円(退職給付費用)÷1,238人(退職給付費用対象職員)×8人(本事業対象者)=5,748,387円		
減価償却費	施設の減価償却費相当部分は本来、日数按分や使用面積按分が望ましいと考えますが、試行として人件費の割合を基に算出することとしました。		
	7公民館人件費総額(A)	187,680,065円	
	本事業人件費総額(B)	86,503,000円+5,748,387円=92,351,387円	
	7公民館減価償却費(C)	41,468,807円	
	本事業減価償却費(C)÷(A)×(B)	20,405,480円	



効果等

○行政評価の事務事業表のコストは発生主義を加えたコストの5%であることが判明した。今後はフルコスト情報を活用して、5%の事業費ではなく、その他の95%の費用も考慮し、予算編成をしていくことができるシステム作りの必要性が明らかになった。

2-①-1 公共施設等総合管理計画

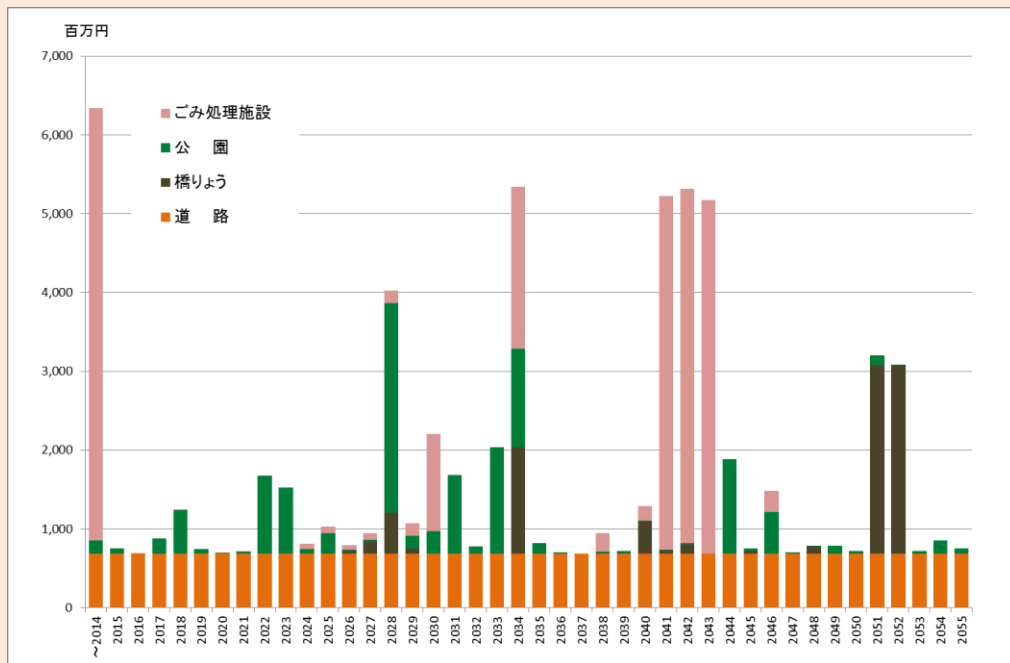
背景・目的

○公共施設のうちインフラ・プラント系施設に係る中長期の経費見込みを、固定資産台帳のデータから算出した事例

事例概要

(単位:千円)	平成67年度までの 更新費用	1年平均の 更新費用
道路	28,734,543	718,364
橋りょう	7,608,004	190,200
公園	12,660,076	316,502
ごみ処理施設	23,567,352	589,184
合計	72,569,975	1,814,250

図表 道路・橋りょう・公園・ごみ処理施設に係る更新等費用の見込み



効果等

○ 固定資産台帳は、これまでの投資実績から再調達価格を算出したものであり、今後必要となる既存施設の除却費や仮設費などを含まないことから、将来の更新等費用が低めに見積もられることに留意する必要がある。

2-①-2 習志野市公共施設等総合管理計画

背景・目的

○公共施設等総合管理計画の推進のため、地方公会計制度改革の取組との連携を明記

事例概要

5.4 地方公会計制度改革の取組との連携

- ◆本計画を進めるにあたり、地方公会計制度改革の取組と連携を図っていきます。
- ◆公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中・長期的な経費の見込みの算出に固定資産台帳のデータを活用します。
- ◆今後は、公共施設単位ごとの財務書類(貸借対照表【バランスシート】など)のデータの活用を進めます。
- ◆地方公会計改革の一環として、施設版マイナンバーの付与と日々仕訳の入力が可能となる財務会計の構築を進め、適時かつ詳細な施設ごとのコスト情報の活用に進めます。
- ◆「バランスシート探検隊事業」の取組の活動を活用するなど、市民への情報提供に進めます。

効果等

- 平成28年度予算執行より、財務会計システムに施設版マイナンバーを付与し、支出命令決議書等起票時に、施設ごとの金額を入力し、施設支出明細表を出力している。あわせて、平成29年度からは、日々仕訳の入力も開始する。これらのデータを基に、固定資産台帳の更新と施設ごとのコスト算出を行い、公共施設のマネジメントに活用していく。

2-①-3 習志野市公共施設等総合管理計画

支出命令決議書

会計年度	平成28年度	予算区分	0 現年度
会 計	01 一般会計		
科 目	款	10 教育費	
	項	02 小学校費	
	目	01 学校管理費	
	事業	02000 小学校運営費	
	節	11 需用費	
	細節	40 光熱水費	
細々節	02 水道料		

予算現額	112,839,000円	控除額合計	*****円
予算残額	111,672,371円	今回支出	
支出命令済額	1,166,629円	命令額	1,054,477円

摘 要	水道料金 平成28年4月分 小学校分		

支払方法	31 納付書	支払予定日	平成28年 5月 10日
------	--------	-------	--------------

施設支出明細表

会 計	01 一般会計		予算区分	0 現年度
科 目	10-02-01 020000 11-40-02			
呼出番号	06219708	金額	1,054,477円	支払方法 31 納付書
伝票番号	28-001703	源泉内容	*****	支払区分 0 一般様式

施設番号	施設名称	施設種別	施設エリア	施設支出金額			
07002200	大久保小学校						221,434
	小学校						
	藤崎コミュニティ						
07002500	実籾小学校			163,217			
	小学校						
	実籾・新栄コミュニティ						
07002600	大久保東小学校			163,710			
	小学校						

2-② 公共施設再生計画（データ編）

背景・目的

○ 公共施設の再生計画を策定するために固定資産台帳のデータ及び公会計のコスト情報を盛り込んだ事例

事例概要

番号	施設名		大久保小学校							
建物所在地	藤崎6-9-28		所管課	教育総務課						
建物種別	小学校		14コミュニティ	藤崎						
複合施設			再調達価額	811,290,000 円						
隣接施設	大久保児童会・大久保第二児童会		土地面積	14992.00 m ²						
用途地域					第一種中高層住居専用					
建物情報										
棟名	延床面積	築年度	年度・耐用年度		Is値・耐震	階数	保有形態			
東校舎	4,071 m ²	1965	10	20	30	40	2015	改修済	4F	所有
西校舎	1,913 m ²	1970	10	20	30	40	2020	改修済	4F	所有
体育館	875 m ²	1959	10	20	30	1997	40	50	0.75	所有
付属棟	52 m ²	1971	10	20	30	40	2021	-	-	所有
総延床面積	6,911 m ²	凡例・耐用年数		■…鉄筋コンクリート造(50年)、■…鉄骨造(38年)、■…軽量鉄骨造・木造(22年)						
バリアフリー										
入口スロープ	施設内段差なし	手すり	点字ブロック	エレベーター	オストメイト車いす対応トイレ	避難所	AED設置			
						○	○			
コスト情報										
種別	決算額	床面積㎡あたり	市民1人あたり	児童1人あたり	構成比	児童数(H23)				
事業費	80,165,052 円	11,600 円/㎡	498 円/人	77,982 円/人		1,028人				
減価償却費	39,113,070 円	5,660 円/㎡	243 円/人	38,048 円/人		基準人口				
人件費	51,615,312 円	7,469 円/㎡	321 円/人	50,209 円/人		(平成23年3月)				
合計	170,893,434 円	24,728 円/㎡	1,062 円/人	166,239 円/人		160,991人				

- **事業費**…複式簿記の仕訳後の科目で、所管課で予算措置した費用(直接事業費)と、所管課で予算措置がない場合であっても該当施設のコストと考えられる費用(間接事業費)を按分して計上しています。
- **減価償却費**…固定資産の中で、土地などの使用により価値の減少しないものを除いて、使用年数に伴って減少する資産の価値の減少分を計算したものを、減価償却費と言います。公会計の固定資産台帳に計上してある減価償却費を計上しています。
- **人件費**…職員、再任用職員、臨時的任用職員の各平均額、及び報償費、賃金、退職給付費用を計上しています。発生主義に基づく退職給付費用を算定しています。
- **決算額**…1年間にかかったコストを決算額として表示しています。

効果等

○ 公共施設再生計画(データ編)と公会計情報から得られるコスト情報を連携させることにより、資産の適切な管理、施設統廃合における運営費削減等の見える化、予防保全等に役立てることが可能となる。

3-① 公会計白書の作成

背景・目的

○公会計の情報は経営改革の羅針盤となるものである。その観点から、より詳細なデータを作成する必要性がある。

事例概要

○公会計白書(資料編) ホームページで公表している。

平成26年度目次

01単体財務書類(18頁)

02貸借対照表に関する明細書(91頁)

03行政コスト計算書の内容に関する明細書(227頁)

04資産別固定資産台帳(314頁)

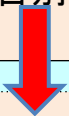
05土地 町丁目別明細(146頁)

06地方債の明細(17頁)

07連結精算表(10頁)

08習志野市財務書類の作成基準要綱(24頁)

■泉町



地番	台帳番号	取得日	面積(m ²)	期末簿価(円)	所管課
泉町1丁目458番3	土地110851516	2012/03/31	209.00	19,021,926	道路交通課
泉町2丁目76番100	土地110851532	2012/03/31	93.60	9,285,120	道路交通課
泉町2丁目76番15	土地02789-01	1975/05/06	168.45	16,543,137	青少年課
泉町2丁目76番17	土地110851533	2012/03/31	214.68	16,547,319	道路交通課
泉町2丁目76番20	土地110851534	2012/03/31	1590.50	122,594,149	道路交通課
泉町2丁目76番8	土地02274-01	1969/11/20	10143.19	773,438,523	住宅課

効果等

○詳細な固定資産台帳は担当課ごとに作成し、情報提供しており、行政コスト算定の際の参考資料となっている。ホームページに公表しているが市民等からの反応は少ない。